

## 新型コロナウイルス対策

(令和2年3月17日時点)

国内における感染拡大の状況を踏まえ、公立置賜総合病院においても感染対策を講じております。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



**受診者対応**…発熱や風邪症状があり、新型コロナウイルス感染症の接触が疑われる等の場合は、**事前に各地域の帰国者・接触者相談センター（各保健所）に電話問い合わせ**して頂き、指示に従って診察を実施する。  
(感染症を疑う場合については病院HP参照)



**面会者対応**…医師が認めた場合のみとし、面会許可証を交付し短時間、少人数とする。

**一般、ご家族の面会は全面禁止。**ご家族の洗濯物等の受け渡しは時間を設定して職員での受け渡し対応を行う。

### 洗濯物等受渡し

受渡し時間: 平日 15:00~19:00  
: 土日祝 15:00~18:00



受渡し場所: エレベーターホール

(面会の方へのご案内は病院HP参照)

★地域の医療・介護関係者の方々も同様に、医師が必要と認めた場合とさせていただきます。ご協力願います。

**リハビリ**…外来患者と入院患者のリハビリが同一空間での共有を避けるために、**時間帯を異にして**実施する。

**院内対策**…会議・研修会は必要性を検討し、感染対策に十分留意の上、開催する。または中止・延期を行う。  
会食、宴会は中止、または延期とする。

※感染状況により、対応の変更がなされることをご了解ください。

公立置賜総合病院

〒992-0601

山形県東置賜郡川西町  
大字西大塚 2000 番地

病院代表

TEL: 0238-46-5000

(連携室、退院支援室同上)

医療連携・相談室

FAX: 0238-46-5721

退院支援室

FAX: 0238-46-5030

予約センター

TEL: 0238-46-5700

FAX: 0238-46-5722

病院理念  
心かよう信頼と安心の病院

置賜広域病院企業団

公立置賜総合病院

www.okitama-hp.or.jp

◇あとがき◇上記のとおり面会が全面禁止となり、ご家族含めたくさんの方々にご協力いただいております。本当なら、ご家族の面会は感謝すべきことと思いますが、そうせざるを得ない状況になってしまい心苦しく思います。大変な状況にあっても、ゴールが見えていれば「そこまでがんばろう！」と思えます。しかし、この状況はいつまで続くのでしょうか…不安な気持ちが少しでも小さくなることを祈るばかりです。

新年度の人事異動に伴う医療体制の変更、診療報酬改定等に伴い、丁寧な医療連携に努めてまいります。今後ともよろしくお願い致します。



令和2年3月

第 56 号

## 医療連携だより

公立置賜総合病院医療連携・相談室 ☎0238-46-5000 内線 1902・1409

### 持続可能な病院 —大沼の経営破綻と地域医療構想—

特集:

医療連携部長挨拶

山田昌弘

……1

医療連携・相談室の

あゆみ

……2~3

新型コロナウイルス

対策

……4

副院長(医療連携部長) 山田 昌弘

最近「持続可能な…」という言葉をよく耳にします。持続可能な社会保障、持続可能な都市、持続可能な経済、そして持続可能な医療。「持続可能性(Sustainability)」という言葉はそもそも地球環境問題から提起された言葉で、「次世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、今日の世代のニーズを満たす」というのが定義です。

今年1月、突然大沼百貨店が経営破綻しました。原因は、人口減少、消費の低迷、ネット通販の普及、市街地での駐車場の問題など、多様化、個別化した顧客のニーズに対応しきれなかった様です。病院も何やら似たような状況にあり、人口減少(少子化)と高齢化による患者減少と疾病構造の変化、薬品や診療材料費の高騰、人件費も含むコスト増加による増収減益等により経営は悪化しています。百貨店と総合病院という形態も似ていますし、「多様性、個性性」という問題は現代医療に最も問われている分野です。果して病院は持続可能でしょうか。安易な経営は禁物の様です。

そもそも総合病院というのは個人経営の様な科の集合体があって、これに組織横断的な看護部、薬剤部、放射線部、医事課等のコメディカルが存在があります。



病院が持続可能となるためには、この各々が「心かよう信頼と安心の」医療、看護を提供しているかをもう一度考えてみる必要があると思います。そして病院は、厳しい事を言う様ですが第三者機関の導入も検討して、各々に対して公正で客観的な評価をする必要があります。地域の医療機関がそれぞれの持続可能性を考えた先に、本当の地域医療構想の実現があるのではないのでしょうか。

サテライト方式の置賜病院が出来て20年。今、米沢で歴史は繰り返されようとしています。「置賜の明日の医療を考える」重要な時期に来ていると思われまます。置賜病院開院以前からこの地で医療に携わり、このような時期に病院を去るのは多少残念な気もしますが、後進に道を譲り、今までのご厚情に深く感謝し、最後のご挨拶とさせていただきます。長い間本当にありがとうございました。

